

外国語学習・教育における レアリアの具体的教育内容に関する研究

堤 正典／西野 清治

昨年度の初修レベルのロシア語教育におけるレアリアの学習内容の検討を行い、特に学習語彙に注意を払った。今年度も初修レベルの語彙についてレアリア学習の面から検討を続けた。

学習語彙においては、ロシア文化に特有なものや、日本人学習者にわかりにくいものなどの語はそれなりの説明を付け加えなければならない。説明を加えなければならないのは、それなりの負担ではあるが、そのような語を適切に含めることはロシア語に慣れさせるのに必要でさえある。

ロシア語の多義語において、日本語では異なる語でしか表されないものもあるが、ロシア語の一部では英語と共通して、同一の語で表すことができるものも少なくない（語源が共通するものも

あるが、語源としては関係が見いだせないような場合でも、多義性において関係が同等であるものも存在する）。

また、堤はかつての共同研究者である非常勤講師の小林潔氏と共同で、スペイン・グラナダで開催された国際ロシア語・ロシア文学教師連盟大会（四年に一度開催）で「ロシア語を学習していない学生に対するロシア文化教育」をテーマに報告を行った。この研究は、外国語学習におけるレアリア知識というよりも、ロシア文化を直接教育する際のことを取り上げたわけだが、学習者に異文化について教育することでは共通する。この成果は別の角度から本研究と関わるものであるので、ここでふれておく。
